

『園部町史通史編 図説・園部の歴史』正誤表

| 頁 | 場所 | 誤 | 正 |
|-----|----------------------------------|----------------------|---------------------------|
| 一 | 本書中 | 国道9号線 | 国道9号 |
| | | 国道372号線 | 国道372号 |
| | | 国道477号線 | 国道477号 |
| 5 | 本文22行目 | 亀岡市東本梅町 | 亀岡市宮前町 |
| 15 | 本文23~24行目 | 日本砂防協会々長長末次信正 | 全国治水砂防協会々長長末次信正 |
| 26 | 上部図版「黒田古墳の埋葬施設」説明文5~6行目 | 木簡 | 木棺 |
| 29 | 図中 | (丹波町) | (京丹波町) |
| | | (京北町) | (京都市) |
| | | (兵庫県／篠山町) | (兵庫県／篠山市) |
| 41 | 上部図版「今城塚古墳」写真提供キャプション | (高槻教育委員会提供) | (高槻市教育委員会提供) |
| 45 | 上部図版「宮ノ口遺跡出土土器」説明文1行目 | 須恵器であるが、、 | 須恵器であるが、 |
| 46 | 脚注「園部窯跡郡」見出し | 園部窯跡郡 | 園部窯跡群 |
| 48 | 上部図版説明文 | 亀岡市東本梅東大谷 | 亀岡市東本梅町東大谷 |
| 69 | 本文29~30行目 | 莊園史なども | 莊園史などの |
| 79 | 上部図版「開山堂」キャプション | 開山堂 | 開山塔 |
| 84 | 上部図版「足利義植奉行連署人奉書」キャプション | 足利義植奉行連署人奉書 | 足利義植奉行人連署奉書 |
| 87 | 上部図版「八木城麓にある東雲寺寺」キャプション | 八木城麓にある東雲寺寺 | 八木城麓にある東雲寺 |
| | | 脚注「⑦野々口牛助兄弟」2~3行目 | 野々口西蔵房 |
| 89 | コラム「黒田城と宇津氏」本文3段4行目 | おそらく波多野氏などと | おそらく波多野氏などと |
| 103 | 上部図版「鹿嶋神社本殿」キャプション | 鹿嶋神社本殿 | 鹿島神社本殿 |
| 104 | コラム「鰐口」2段11行目 | 北向き屋根の先端 | 北向き尾根の先端 |
| 120 | 脚注「②家臣団」4~5行目 | 妻は秀吉の妻の妹 | 妻は秀吉の母の妹 |
| 136 | 上部図版「園部藩邸跡と松原通」キャプション | 園部藩邸跡と松原通 | 園部藩邸跡と醒ヶ井通 |
| | | 上部図版「園部藩邸跡と松原通」説明文 | 京都市立醒ヶ井小学校 |
| 175 | 脚注「④船井郡内での園部町城」見出し | ④船井郡内での園部町城 | ④船井郡内での園部町域 |
| 202 | 上部図版「駆獣院」キャプション | 「駆獣院」 | 「京都駆獣院図」 |
| 214 | 本文9~10行目 | 京都嵯峨野伊勢守町 | 京都嵯峨の伊勢ノ上町(京都市右京区嵯峨伊勢ノ上町) |
| 218 | 脚注「②幹線用水路」3行目 | 勝抜墜道 | 勝抜隧道 |
| 219 | 本文4行目 | 子の日 | 子ノ日 |
| 222 | 上部図版「日没後」キャプション | 「日没後」 | 「日没頃」 |
| 240 | 上部図版「船岡開通式」キャプション | 船岡駅開通式(昭和28年10月) | 船岡駅行違設備完成記念式典(昭和42年) |
| 242 | 上部図版「天神山から見た新町の街並(国道9号線前)」キャプション | 天神山から見た新町の街並(国道9号線前) | 天神山から見た新町の街並 |
| | | コラム図版「観音峠トンネル」キャプション | 観音峠トンネル |
| 248 | 本文10行目 | 園部重工(株)であった。 | 園部重工業(株)であった。 |
| | 本文14行目 | 橋本電気(株)園部工場であった。 | 橋本電機(株)園部工場であった。 |
| | 上部図版「作業風景(橋本電気(株)・昭和36年頃)」キャプション | 作業風景(橋本電気(株)・昭和36年頃) | 作業風景(橋本電機(株)・昭和36年頃) |
| 249 | 上部図版「作業風景(園部重工(株)・昭和37年頃)」キャプション | 作業風景(園部重工(株)・昭和37年頃) | 作業風景(園部重工業(株)・昭和37年頃) |
| | 上部図版「太陽機械工場(株)園部工場」キャプション | 太陽機械工場(株)園部工場 | 太陽機械工業(株)園部工場 |
| | 「主な工場誘致」表中 | 日本特殊研砥工場(株) | 日本特殊研砥(株)工場 |
| 251 | 上部図版「船岡中学校体育大会」キャプション | 船岡中学校体育大会 | 船南中学校体育大会 |
| 261 | 上部図版「ほ場整備前の宍人地区」キャプション | ほ場整備前の宍人地区 | ほ場整備前の口人地区 |
| | 上部図版「ほ場整備後の宍人地区」キャプション | ほ場整備後の宍人地区 | ほ場整備後の口人地区 |
| | 上部図版「ほ場整備前の口人地区」キャプション | ほ場整備前の口人地区 | ほ場整備前の宍人地区 |

| 頁 | 場所 | 誤 | 正 |
|-------------|-----------------------------|---|---|
| 261 | 上部図版「ほ場整備後の口人地区」キャプション | ほ場整備後の口人地区 | ほ場整備後の宍人地区 |
| 268 | 上部図版「春祭・子供御輿」キャプション | 春祭・子供御輿 | 春祭・子供神輿 |
| 269 | 本文18行目 | 子供御輿 | 子供神輿 |
| 277 | 上部図版「場の中につけた笹で参拝者を祓う」キャプション | 場の中につけた笹で参拝者を祓う | 湯の中につけた笹で参拝者を祓う |
| 299 | 略年表・1904(昭和37)年 | 11京都鉄道、園部一福知山間開通 | 項目削除 |
| 302 | 略年表・1950(昭和25)年 | 11園部劇場(株)が三和映画(株)に社名変更 | 項目削除 |
| 318 | 執筆者 | 長船洋司 | 長舟洋司 |
| 319 | 協力機関・協力者 | 京都丹後市教育委員会 | 京丹後市教育委員会 |
| | | 人見信男 | 人見信夫 |
| 330 | 園部町史編さん委員 | 高木 茂 | 高木 茂 |
| 215 | コラム「共楽館」4段1~9行目 | で劇木へ式わ再船と和昭芝 続一映松会れ出井と映和居 々、劇竹社人発郡も画二興 と京一一座は氣、内に会五行 映北、・園を時初、社年が 画町丹朝部博にの映一へ中 館へ波日映しは常画に一心 を周町座劇た歌設興社九だ 開山へーの。手映行名五つ 設映須八他三の画もを○た し劇知木に和興館は変一劇 た一映町亀映行とじ更に場 なー岡画もしめすーは ど八市株行て、る三、 | とをし劇設年は名五株道を昭芝 に中て場立、、を八式を設和居 な心両なし一昭変一會歩置ニ興 つに社ど、三和更に社むす六行 た映はを亀和二す三はこる年が 。画船開岡有五る和、とな、中 の井館松限年。映昭にど一心 提郡運竹会へま画和な常階だ 供・嘗座社一た株三る設部つ を亀すやー九、式三。映分た 続岡る八を五前会年園画に劇 け市。木新〇田社へ部館イ場 るなこ映たー氏に一劇ヘスは こどう画に 社九場の席、 |
| 190~ 191 | 脚注「⑧初めて汽車を見し事を記す」 | | |

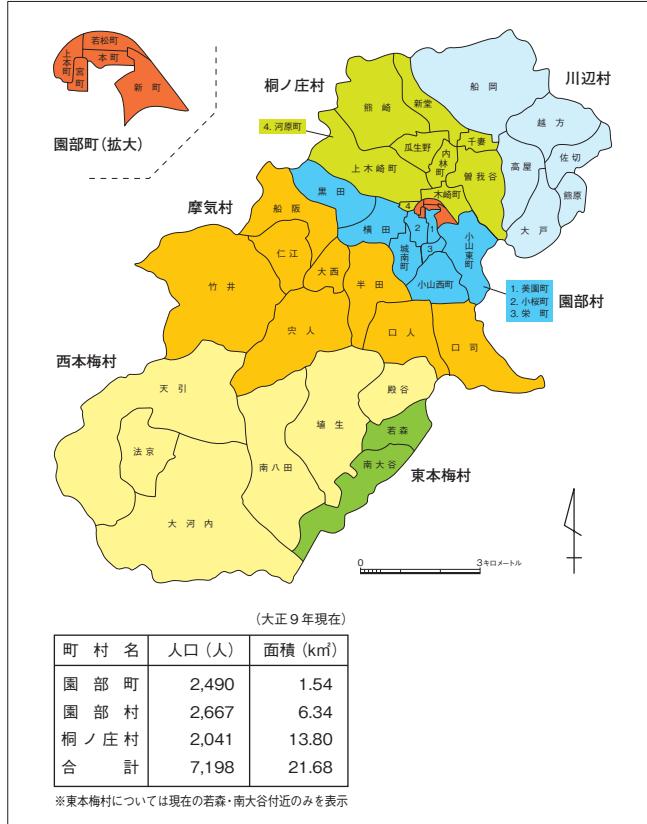
(誤)

淇へなばずどぐ見居初は園た居のぎよにしれぬたば時バ中ヒ凡ななく息ち日及よくつにき友床し業 ⑧
南明り、、、に居ため所部りし入りて、にの。り、にツ、ュそれり停も、はびり、な、。をを汽式過初
同治きい且少下るりて々に。による嗟八早、人さしあ樂バ大一三ばき車切六早ぬ聞家ぎ汽早さ出車なぎめ
窓三。そつしり中。のの帰是、由峨木や音もれがち隊ツ雷と○、。場れ時く。けへあ車やそてをるして
会三ぎ未くて、汽土名るよ彼なに、停とあば、らのとのな分今こへな過臥此ばとりの来ひ、見由八汽
報年家だ降停早車地所汽りのり着亀車共り頓本こ音はとりばかれつんぎ床日、足し影れ行取んき月車
第一に午雨車やになを車凡汽しし岡場にしみ日ち、きどてか今よきば家にお明をのもりきるとか十を
一二月帰餐の場園乗れ尋にそ車かぬのもうかに午らいつろ、りかりしかを入く日回み形ともてば三見
号、り食為を部らばねの三はば。各消ごば乗前とと來く來しと汽頃り後りるはしなもてしの、、日し
『』たも、見にば、らり時京、此駅えく、りは走にり如にて待車は走に、べ開たりな、、も常今此事
部高をり食思ん着、近れた間都それを失ぞ乗た無りぎたきけさちの、りし夜か通りしくい道とのこ日を
等小記す。せうとし窓きしり許をこよ通せとりく貸つやり音りもつみいつてのら式。か、そにり日そは記
校時ざにしたよ所か。りさにりりた見て思なづか。しと勢づたとづ、明ずな其ば只ぎてあよ多京す
正りまたりりなど此経して先谷りゆ待いるけなそ、思いけきにけ道くとる次、箱行笛えり年都
にしあけき所あ、間てて下はを。るち、由てりれ黒いよたがぎてとるて由の詮のきなずもね鉄
二かされ。々る我皆漸行り賃もそ間居又聞見しと煙居くり為や、てを、き日方二見り、早が道
時 直をきは々くき見金過れ りつき居か同をる。めか漸は待其き人なつし 朋くひ試

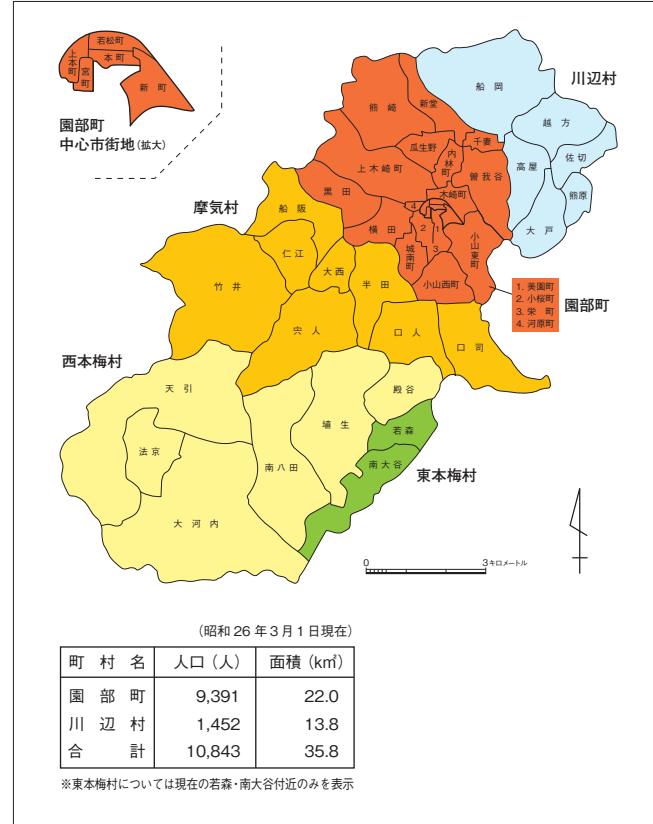
(正)

淇へ正ざ思を園ら近れた許をこよりた見て思賃つやりしとさつめか漸い待其き日方二見なずもね試過⑧
南明にりふ見部ばきしりりさにり、りゆ待ひなゞか、、思もゞななくきち日ゝ人なつしり、早が業き初
同治二しにんに、所か、經して先谷、るち、るけなそ黒ひ勢けれり停も、は及よくつにき朋くひ式にめ
窓三時かまと着ま々ど此てて下はをそ間居又由てりれ烟居よたばき車き六早ひり、な、、友床しなして
会三なばかししどを、間、行り賃もれにりつ聞見しとをるくり、、場れ時くぬ聞家ぎ瀧早をを瀧る八瀧
報年り、さたたよあ我皆漸き見金過よ、しれき居か同バ中ヒ、今こへな過臥、けへあ車やさ出車由月車
第一きいぢれりりるは々くた居のぎり早にのぬたば時ツ、ユ凡かれつん家床此ばとりは來そでをき十を
二月、そ、どき所き初は園りし入て八や、人、り、にバ大一そ■よきはをに日明足し影れひ、見、三見
号、ぎ且、々居め所部、による嗟木停音もさしあ樂ツ雷と三へりしか後入後日をのもり行取んし日し
『』家つ少直をりて々に是、由峨、車とあれがち隊とのな十く瀧頃りにりるは回み形とか、事
に未しに見たのの歸よ彼なに亀場共りば、らのはとり分の車は走し、べ開しなもてしもてば此を
部高をり午降りる、地所瀧凡瀧ししの消うかに日ち、つろ、か点みいつ、のら式りしくい、も常今はす
た餐雨て中瀧なを車そ車かぬ各えごば乗午らい來く來り一とゞ道明ずな、か、そ道とのこ京
りもの停、車れ尋に三はば、驛てく、り前ととり如にしときにけとくとる其ば只きにり日そ都
、食爲車早にばねの時京、此を失ぞ乗たは走にたきて待がきててるて由次、箱行てあよ多鐵
時せ、場や乗、らり間都それ通せとりく無りぎ 音り、ち為や、はを、 の詮のき笛えり年道

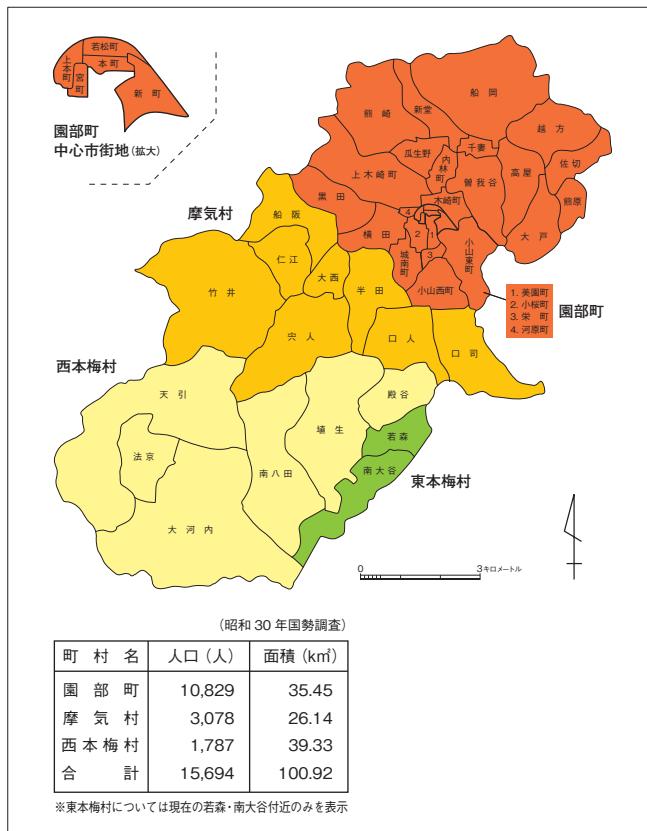
209頁図版



231頁図版



233頁図版



235頁図版

